12・22佐藤さん虐殺弾劾！　右翼テロ一掃！

2・3 山谷と全国を結ぶ佐藤満夫さん人民葬への参加を

昨年十二月二二日早朝、山谷労働者の闘いに心を寄せ、日雇労働者の生活と闘いの真実をひろく伝えるために山谷に入り込み、職業紹介をしていた佐藤満夫さんが、右翼暴力団の凶刃により虐殺されました。

山谷では一昨年十二月以来、日本国粋党全国一家西戸組という暴力団が「皇誠会」を名乗り、"天皇と一日の丸"を掲げて、山谷労働者と山谷の労働運動組織、山谷争議団に武装襲撃を仕掛けて来ています。

山谷労働者の身体をはった反撃で佐藤さんらと山谷に心を寄せる人達の力により、追いつめられた襲撃者達は、警察による補償を強迫、そして遂に組織として「山谷互助協会」という悪質業者・手配師の団体をデッチ上げ、日雇労働者にとっての唯一の職を奪い、搾取を牛耳ろうとして、それでなくとも過酷な条件にある労働者を陥れようとしてきました。

この陰謀を武装をもって破ってきた佐藤さんは、狙いの本業である映画を通してより深く寄せ場と労働者の現実に踏み込み、それを広く伝えるためにフィルムを撮し始めたのです。この映画を武器にした佐藤さんの関心は、悪徳ブローカー等が報じている「人違い殺人」ではありません。佐藤さんの闘いと、闘いの拡大を恐れたファシストのテロルであり、我々はその背後に公安警察の影をも見ざるを得ません。

佐藤さんの死は闘いの中で生じた必然であります。

私達は、佐藤さんの遺志を引き継ぎ闘い続けるとともに、全国で闘うすべての皆さんが、佐藤さんの無念を一元化して、山谷労働者に心を寄せる一山谷と全国を結ぶ人民葬に参集されるよう訴えます。

私達は、その決意のために人民葬を行います。

2/2 佐藤さん虐殺万歳弾劾！／西戸組一掃

山谷行動 決起集会

よる6時30分より 三角公園へ

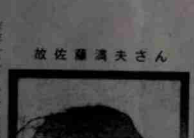
映画「人民の勇気」上映

三角公園に結結集しバス「帝利号」に乗り込み

みんなで山谷に行こう！集会後9時出発～2/4早朝帰阪

……しょせん、皆さんにとって私共は他所者で目障りな存在でしょうが、寄せ場の未来を切り拓くため、現実を映画にとらえるべく活動した以上、一歩も後退することは敗北を意味します。――「映画の魂は徹底的な現場への信頼をかかげてることはできない」――

故佐藤満夫さん



1947年1月19日、新潟県南魚沼市に生まれる。49年、東大闘争で逮捕される。その後、新潟県に向け出た。53年、山谷の闘いに結ぶを持ち、高校卒業で中退。54年山谷結成に「山谷争議団支援共闘の会」として参加、以来「山谷の会」中心メンバーとして、組織的に山谷の闘いを支援の先頭で闘う。11月、世代間の映画を撮るべく「ドキュメント映画」を制作。12月より撮影開始。12月22日朝、西戸組・関本等一の死刑に倒れる。享年32歳。